

第5回 市民フリースピーチ制度 協議結果一覧

1	男性	<p>犬山市 駅(西口)交差点地下道について</p> <p>犬山駅西口交差点に地下道があるが、利用率を確認するため朝昼晩に時間を分け各1時間たってみた。 延べ人数で約500人で地下道を利用したのは犬山高校の生徒だと思いがたったの2人だった。地下道は本来安全のために作られたかと思うが、暗いし言い方が悪いが「汚い」、暗いから「怖い」。地下道を使うのは犬山祭の混んでいる時くらいだと言われた。 だから、もう少しきれいにして、犬山市の観光PRなどに使用してはどうか。</p> <p>(対応)建設経済委員会 (対応先協議結果)地下通路の活用は、県に占用許可を提出すれば使用可能であることは確認した。具体的な活用について、原課または市民団体からの提案に対し議会で応援していく。</p>
2	男性	<p>未来の「犬山観光」の創造 ―文芸と茶華道によるおもてなし―</p> <p>1. 市は俳句のまちを宣言し、内藤文草を偲ぶ会俳句大会を主催してはどうか。犬山には俳句のまちにふさわしい財産や実績がある。近年、テレビの影響で俳句の人氣が高まっている。今がチャンスと考える。 2. 市は城下町野点茶会を主催してはどうか。本物の歴史と文化の有名観光地には必ず大規模な茶会がある。全国に先駆け野点茶会を主催するには今がチャンスと考える。 以上の俳句と茶会の和のこころによるおもてなしは、未来の犬山観光を支える一大観光事業になると思う。</p> <p>(対応)民生文教委員会及び建設経済委員会で調整し文化協会で見聞交換会場の場を設ける。 (対応先協議結果) 両委員会で調整した結果、民生文教委員会を主体として1月21日に文化協会と見聞交換会を行う。</p>
3	女性	<p>SDGsから考える栗栖小学校の未来</p> <p>栗栖小はとても素晴らしい環境の学校である。しかし、全校生徒は18人。2歳の妹が小学生になる頃には全校で10人を割るという課題がある。 100年以上つづく栗栖小を継続可能な小学校にするには 栗栖小に通いたいと思う子供や家族を増やしたり、住みやすく、安心して子育てしやすい環境を整えることが大切だと考える。 そのために4つの提案をする。①特認校制度を導入する②移住を促進する(田園優良住宅制度の活用)③山村留学拠点を作る④中学までの通学の安全確保をする(通学用バスの運行)</p> <p>(対応)議員有志で協議する場を設ける。 (対応先協議結果) 現状を把握するため、まず1月21日に関連課に聞き取りを行う。</p>
4	男性	<p>『見聞きする力・伝える力・学ぶ力』の3つの力でより活力のある犬山に！</p> <p>3つの力(見聞きする力、伝える力、学ぶ力)でより活力のある犬山にしたい。3つの力を高めるための取り組みを通じて、将来の犬山の産業を担う学生、観光業のスペシャリスト、若手、犬山ファンなどを育てたい。実現に向け、行政等には、市役所の各課が取り組む計画を時には課を超えて協力し、市民の声を拾い尽力して欲しい。議員には、有権者・支持者という意識を超えて未来を担う子供や学生、市外の人(犬山ファン)まで視野を広げて活動して欲しい。小中学校・高校・大学・図書館等の方には、貴重な史料が利用できることをアピールして欲しい。すべての方へ、犬山をより活力のあるまちにしていいため、今一度、前向きに行動しましょう。</p> <p>(対応)議員全員、ご意見の趣旨を真摯に受け止める。久世議員が3月定例会で一般質問する。</p>